

組合共同事業の紹介

本会では、共同事業に積極的に取り組んでいる組合事例を収集し、情報提供していきます。
第2回目は団地内保育所を開設した事例をご紹介します。

[共同施設]

仕事と家庭の両立支援、子育て支援

組 合 名	協同組合米沢総合卸売センター
住 所	〒992-0011 米沢市中田町760
電話番号	0238-37-4300
FAX番号	0238-37-6323
設 立	昭和43年2月
出 資 金	64,290千円
組 合 員	47名
主な業種	共同施設賃貸管理事業、受託管理事業、 カーリース事業、共同購入事業等



1

背景と動機

当組合は、米沢地区の卸売業者を中心に組合員47名、雇用者数約800名を要する置賜地域を代表する団地組合である。

当該団地内の雇用者数に占める女性従業員の比率は約40%と高く、仕事と育児（家庭）の両立支援を目指す当組合は、人材確保や人材の定着化、女性社員の活用を図る雇用戦略、団地内の就労環境整備の一環として保育施設の設置を計画していた。

保育所運営を委ねた米沢市内で認可外保育所を営む並河智子代表との連携が得られることになり、「ベビー&キッズ ティコティコ」の開園の運びとなった。

2

事業・活動の内容

当該保育所は、ゼロ歳児から未就学児を受入れ対象とし、通常保育の定員は32名である。時間単位の一時保育や風邪などの病後時ケアをはじめ、時間外の延長保育を行う等、幅広い保育ニーズに対応している。また、団地外からも子どもを受入れることとし、地域保育への貢献にも配慮している。

平成19年度からは組合員企業に従事する従業員の経済的負担の軽減、福利厚生の実施を図るため、保育料の一部助成制度をスタートさせた。更に、平成22年度から交付要綱を一部改正し、保育料の助成額を引き上げ従業員の負担軽減を図った。

3

成果

平成18年10月に総建設費2,100万円をかけ団地内の旧社宅用地に、敷地面積約285㎡・延床面積約100㎡の保育所が完成した。

経営課題に一組合員企業が取り組むには限界があることに、組合が取り組む意義があり集積メリットを活かした組合事業として取り組むことで共同施設の運営に成功した。確実に組合員の短時間労働者や契約社員など、多様な雇用形態による経営の効率化に貢献している。また、慣例化している寿・出産退社の改善と、人材の定着化による採用コスト・教育コストの削減及び経営力の向上にも繋がっている。